

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部農政企画局 課長（農業経営担当）	記入責任者職氏名 （担当者氏名）	課長 世古 静 夫 （皆木 治 男）	内線	3929 （3944）
------	--------------------------	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	経営構造対策 事業	事業名	事業区 間	総事業費	約 1 億円
		経営構造対策事業	畑・野尻地区	内用地補償費	- 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
出石郡但東町畑			H 1 6	H 1 6	H 1 6
事業目的			事業内容		
<p>畑・野尻地区は水稻中心の営農が営まれているが、地域の特性を生かした農作物の産地化（小松菜等軟弱野菜）を進めるため、但東町及びJAたじま・（有）夢大地が連携し、園芸施設の導入を図ることにより、農業経営の安定・確保、及び野菜産地化を進め、担い手となる経営体の確保・育成を図る。</p> <p>事業主体：JAたじま （有）夢大地</p>			<p>複合経営促進施設（パイプハウス） 75 棟 31,500 m² （国 50%、県 0%、地元 50%） 事業主体：JAたじま</p> <p>用排水整備 給排水整備 1 式 （国 50%、県 17%、地元 33%） 事業主体：（有）夢大地</p> <p>農畜産物集出荷貯蔵施設（作業棟） 1 棟 360 m² （国 50%、県 8%、地元 42%） 事業主体：（有）夢大地</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<p>畑・野尻地域は、稲作単作地帯で、少量のピーマン、キャベツ等が生産されているが、地域農業発展のため、JAたじまは、特産物づくりと産地化の推進、土づくり、減農薬を基本とした安全な農産物づくり ハウス事業による団地化の推進 但東町は 地域の認定農業者等の育成と軟弱野菜の産地化を目標に、農業施策の展開を行っている。</p> <p>上記目標達成のためには、生産環境制御、病害虫の防止が容易で高品質な野菜が安定生産でき、農業経営の安定、地域での雇用創出が可能となる複合経営促進施設を導入する必要がある。</p> <p>関係農業者の意欲（豊岡市において施設栽培技術を習得）は高く、本年3月に「安全安心農産物の生産（ひょうご安心ブランドの取得）高年齢者・女性の雇用創出 地元農業青年の育成」をテーマに農業生産法人を設立した。</p>				
(2)有効性・効率性	<p>・事業実施により次の効果が期待できる。</p> <p>農産物作付け増：15.7 haの増 ・32百万円/年の所得増 認定農業者の育成：現況0人 目標15人 新たな雇用の創出：15人 ・費用便益比： B / C = 1 . 3 1</p>				
(3)環境適合性	<p>・有機栽培・ひょうご安心ブランドの取得を基本とした安全で安心できる新鮮な農産物の生産を目指し、周辺環境への負荷を軽減する。</p>				
(4)優先性	<p>畑・野尻地域農業の維持発展を図るため、農業生産法人（認定農業者を中心に地域の新規就農者等15名）を設立し、用地は確保(8.3ha)済みで地元協力体制も整っている。</p>				